

大震災・復興ニュース（第26報）

平成23年10月14日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年10月5日～10月12日
- 2 測定分析機関 (財)日本分析センター
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

水産物（漁獲日 平成23年9月26日～10月5日）

（単位：ベクレル/kg）

種別	漁獲場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
ブリ	宮城県沖	不検出	13.6
シロサケ	宮城県沖	不検出	不検出
ミズダコ	宮城県沖	不検出	不検出
スルメイカ	宮城県沖	不検出	不検出
ヒラメ	宮城県沖	不検出	5.9
ナガツカ	宮城県沖	不検出	13.5
ナメタガレイ	宮城県沖	不検出	6.7
シロサケ	気仙沼湾	不検出	不検出
アイナメ	気仙沼湾	不検出	4.8
ヒラメ	気仙沼湾	不検出	7.1
サンマ	道東沖	不検出	不検出
カツオ	三陸北部沖	不検出	11.9
カツオ	日本太平洋沖合北部	不検出	1.2

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

<水産漁港部からのお知らせ>

県庁1階にて塩竈市の地場産品展示即売会開催

10月11日から14日まで、県庁1階玄関ホールにおいて、塩竈市の地場産品展示即売会が開催中である。

ホヤの塩辛や赤魚の一夜干し、ばらのりなどの塩釜の水産加工品が販売されている。

展示即売会の様子



漁港の災害査定

- ・ 10月11日から10月14日までの4日間で第6次査定が行われている。
- ・ 申請箇所は全て県管理漁港で、閉上漁港：7箇所，荒浜漁港：6箇所，計13箇所，申請額は5億50万円である。

2 管内の復興に向けた動き

<トピックス>

ノリ網の入庫が始まる

松島湾内の水温は18台と、この時期としては平年並みに低下してきており、ノリ芽の芽付きは順調で、大きいものは肉眼視できる4mm程度にまで生長している。

生長が順調なことから、冷凍網生産用の入庫が始まり、松島湾外の張り込みも一部で始まっている。

その他海上作業としては、ケイ藻で汚れたノリ網の洗浄等が行われている。



ノリ網洗浄の様子

ヒラメ稚魚を七ヶ浜に放流

10月12日、七ヶ浜の花淵浜においてヒラメの稚魚が放流された。

これは社団法人全国豊かな海づくり推進協会などの協力により青森県から宮城県水産公社に無償提供されたもので、5～6cmサイズのヒラメ約1万尾が放流された。

その他県内では気仙沼市（日門漁港），石巻市（渡波）にも放流された。



ヒラメ稚魚の放流

災害復旧応援職員の紹介

大分県の漁港漁村整備課から来ました河野（かわの）です。

宮城県への災害派遣は、2度目となります。1度目は、6月に東部地方振興事務所で石巻漁港などの災害復旧に携わりました。漁港の経験は1年と浅い中での派遣となり、これまで経験したことのない大規模施設の災害復旧業務に戸惑いの日々を送りました。

趣味はJ2大分トリニータの試合観戦であります。6月に来た時などは、絶好調なベガルタ仙台を羨ましくみていました。いつかは、J1のステージでサポーターとして宮城県に来たいと思っています。

一ヶ月という短い間ではありますが、全力で取り組みたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



河野 勝さん

